同友会三つの目的

「よい会社、よい経営者、よい経営環境をめざす」

①同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強靭な経営体質をつくることをめざします。

おきなわ同友会しんぶん

ニライ みらい

2020年（令和２年）10月号

No. 391

発行：沖縄県中小企業家同友会
編集：広報委員会

〒901-0152
沖縄県那覇市字小禄1831番地1　沖縄産業支援センター603号
☎.098-859-6205㈹　FAX.098-859-6208
http://www.okinawa.doyu.jp
E-mail:doyu@okinawa.doyu.jp

21世紀に輝く No.196

大切な社員と共に知恵を出し合い、お客様から愛され選ばれ続ける店舗を

常に前向きに苦難に挑む

㈱ニューロンシステム・宮良そば　代表　宮良 信介 氏

そよふく風も心地よく朝夕めっきり秋らしくなった今日この頃。涼しくなると夏バテ気味だった方も食欲が回復してきたのではないでしょうか。

美味しい食べ物といえば、やはり県民のソウルフード〝沖縄そば〟が圧倒的人気です。

今回は、国道三三〇号沿いで人気の八重山そば店「宮良そば」を経営する宮良信介氏を取材しました。〝八重山そば〟は丸くツルツルした細麺が主流だが、ここでは普通麺もあり最近では生麺でも提供している。そばの上に乗せているのが細切りにした豚の赤身を煮た肉とかまぼこが特徴である。だし汁も五種類以上の食材を八時間煮込み、コクがありながらあっさりしたスープは麺との相性も抜群です。

宮良信介氏が本格的に経営に携わったのは六年前の二〇一四年。二年前に亡くなった父が運営していたホテル事業が立ち行かなくなり、複数の株主から懇願されて社長に就いたとのこと。当時は建物の価値も低く銀行からの信用も薄く破綻寸前でした。併せて母が経営していた「宮良そば」の経営にも関わることになりました。

三十四年前、八重山出身である父が故郷の食材を広めたいとの思いで「八重山そば」との名称で開業。建築設計デザイナーだった母がレイアウト。沖縄らしい風情を醸し出す店舗が仕上がったとのことです。

三十年前から母が直接経営して、固定客も順調に増えてきていたが体調不良もあり次第に経営状況が悪化してきた。信介氏が関わった六年前にはホテル事業と同じく破綻状態に陥っていたとのこと。その母も三年前に他界。信介氏は、「もっと早く支えていれば」と後悔したそうです。

自営業であった両親の背中をみて育った信介氏は「長男の自分もいつかは社長になるのかな」と思っていたが、中学三年生の時に父の事業が倒産。生活は一変し、塾にも行けなくなったとのこと。それでも本来負けず嫌いの信介氏は同級生には負けたくないと決意し自力で猛勉強。現役で国立大学への進学を果たしました。しかし、進学はしたものの経済状況は依然厳しくアルバイトで学費を稼ぐ日々。それでも学業は疎かにせずファイナンシャルプランナー資格試験にも挑戦し一発合格。日常的に資金繰りで苦労していた両親の手助けになればと思い頑張ったそうです。

二〇〇〇年大学卒業。FP資格を活かしたいと思い、税理士法人タックスサポート・イトカズのグループ会社㈱ファイナンシャルリンクに入社することができました。ご存じ沖縄同友会の初代代表理事である糸数哲夫氏の税理士事務所である。採用されてからの二十年間。多くの代えがたい経験を積みました。特に相続に悩む顧客には、「人生の最後を悔いなく終わり、遺族にも喜ばれる」仕事をと臨みました。糸数代表からは多くの薫陶を受けました。温かくも厳しく、人生の師匠のような存在でした。経営者のあるべき姿を学び今後も模範にしていきたいと宮良氏は語っています。

両親の事業を引継ぐことになった六年前から、会社役員・ホテル経営・そば店経営と三社の異業種経営に携わり心身ともに大変な状況でしたが、師匠の糸数代表からは「三つともやりなさい」と激励されました。現在の状況は自身を更に成長させる糧になると腹を決めて頑張りました。

そして二〇一九年十月、正式に糸数代表の元を卒業しホテルと宮良そばの経営に専従することになりました。

ホテル事業は、インバンド獲得に焦点をしぼり観光ホテルに改装変更しました。価格も工夫して、順調に売り上げも伸ばし稼働率も九〇～九五％までになりました。

宮良そばも新メニューを次々と発売しました。県民に愛されるチャンプルー定食や〝そば屋〟には珍しい島野菜など種類豊富なサラダバー（コロナの影響で休止中）もウコンも混ぜたおからも好評だそうです。そして、なによりも沖縄そば用のダシ骨を使った〝骨汁〟が美味で注文も増えているとのことです。

なんとか軌道に乗せてきた矢先に、年明けの三月頃からコロナの影響をもろに受けて、宿泊業・飲食業経営の厳しさに身をもって感じました。

しかし、これまで培ってきた税理士事務所での経験やFPとしての知識を活かし乗り越えようと決意しています。できる限りの助成金の活用で社員・パート五十名の雇用も守っております。

今年度から青年経営者部会「うりずん」の部長に就任し、那覇北地区の役員でもある宮良信介氏。コロナ禍で厳しい経営状況が続くが部会の仲間や地区の先輩からの学びで常に前向きに苦難に挑む姿勢は忘れていません。

「大切な社員と共に知恵を出し合い、お客様から愛され選ばれ続ける店舗を」と意気込む宮良信介氏の今後の活躍に期待しましょう。（仲地治）

《会社概要》

㈱ニューロンシステム・宮良そば
代表　宮良 信介 氏
〈那覇支部〉
所在地／那覇市辻2-6-1(ホテル・飲食店)
浦添市当山1-7-17（飲食店）
ＴＥＬ／098-876-7082
事業内容／飲食業・ホテル業
ＵＲＬ／https://miyarasoba.com

茶論

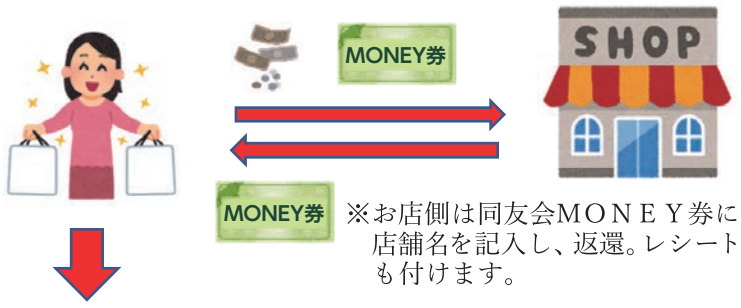
先月、「国民のために働く内閣」が発足した。それより前の内閣は何のために働いていたのか気になるところだが、率直に「国民のために働く」と言っている菅義偉総理大臣に期待すると共に、「国民」の中に沖縄や中小企業は入っているか、注視していきたい▼同友会理念の第三は、「国民や地域と共に歩む中小企業」をめざすである。会員企業の経営理念にも、その多くに「社員・お客様・地域を大切にする」旨の文言が含まれている。その中にあの人、あの会社、あの地域は含まれているか、今一度思い返してみる必要があるのではないか▼菅総理大臣は、「私が目指す社会像は、自助・共助・公助。そして絆です。」とも述べた。同友会理念の第二「自主・民主・連帯の精神」と似ているようにも思えるが、同友会は企業家自身が、大切にすべき精神を述べているのに対して、「公助」を提供する立場の総理大臣が、国民へ向けて発している点が異なると思われる。助けが必要な人が、自助や共助を尽くしたかと躊躇して、援助を受けられなくては元も子もない。助けが必要な場合は迷うことなく声を上げ、提供者は遅滞なく「公助」を届けて頂きたい。緊急事態下の今だからこそ、政治も企業経営もその真価が問われている。（宮城光秀）

同友会MONEYはもう活用しましたか？

同友会ＭＯＮＥＹ券サンプル

支払い時のお金とMONEY券の流れ

①利用者側は現金と同友会ＭＯＮＥＹ券を渡します。



※お店側は同友会ＭＯＮＥＹ券に店舗名を記入し、返還。レシートも付けます。

同友会事務局

②ＭＯＮＥＹ券とレシート（領収）をＦＡＸかメールし、翌月２５日に会費引き落とし口座に振り込まれます。

※同友会事務局に直接持ってきていただいた方はその場で清算します。

利用方法について

- 会員企業の皆さんで経済を回すことが目的です。
- 同友会ＭＯＮＥＹ券の受付店舗で利用できます。
- 同友会ＭＯＮＥＹの利用店舗は、沖縄県中小企業家同友会のホームページに随時更新しています。
- 同友会ＭＯＮＥＹ券は、１枚1,000円×5枚を郵送にて各社にお送りしています。
- 1,000円以上の支払いで１枚利用可能です。
  (5,000円以上の支払いでは５枚利用可能です。)
  999円は利用できません。
  1,000円から利用できます。

○利用期間　２０２０年８月１日～２０２０年１２月３１日

役員研修講座第3講 あてにしあてにされる地域環境を目指す

友寄利津子 氏

八月七日、Ｚｏｏｍにて役員研修講座第三講が三十二名の参加で開催されました。ＮＰＯ法人ライフサポートてだこ・代表の友寄利津子氏に「地域づくりと人が育つ環境づくり～同友会理念と弊社の地域活動～」をテーマに講演いただきました。

業務の合間に地域活動を行うのが難しく、「優しいまちづくり事業部」を開設することで地域を良くする活動に力を入れます。

朝食支援や出張駄菓子屋、認知症カフェ、ゆんたく会など楽しみながら、つながりもできるイベントを毎年開催することで、浦添を沖縄一優しいまちにすることを目指します。また、福祉・介護を幅広く地域住民に知ってもらうために始めたオリンピックは五つの中学校区を一年ごとに巡回して開催するなど、様々なイベントを開催しています。

介護をしながら働いている人や障害を抱えたお子さん、兄弟を世話しながら働いている人に企業とつながることで困りごとなどの相談ができる場づくりや世代間の交流、地域との連携など、地域活動をすることで地域密着に繋がると共に、社員の成長も実感し、会社の中だけでできない人材育成が、地域の中に出ていくことで視野を広げることができました。

同友会で学び、理念経営を実践してきたことでリーダーたちの中に「何のために地域づくりをするのか」が芽生えてきたからこそ活動ができました。

地域づくりは、すぐに会社に利益をもたらすものではなく、積み重ねて継続する中で、最終的に事業の中に反映してゆく、未来への投資だと考えると、確実に目に見えない財産になります。

自社の理念に掲げている「地域でつくる人々の幸せ」が現在の地域づくり(地域に密着した事業)に繋がっています。これからも理念経営を実践して、同友会での学びを深めながら強靭な企業づくりで、あてにしあてにされる地域環境を目指していきたいと話します。(事務局)

那覇支部9月支部例会 誰でも安心して暮らせる社会づくりを

九月十四日、沖縄産業支援センターとＺｏｏｍを併用して百十二名の参加で那覇支部九月支部例会が開催されました。

今回は、㈱レキオス・社長の宜保文雄氏に「夢の扉～愛と勇気とSomeMoney～」のテーマで報告いただきました。

十九歳の時に家賃保証という分野で起業。母子家庭で育った環境から、アパートを借りる際にも母子家庭の不利益を解決し、安心して暮らせるためのお手伝いをしたいとの想いから出発します。

真剣に聞く参加者

設立当時は家賃保証すら不動産業に認知されておらず、資金繰りにもアルバイトをしながら繋ぐ苦労話もありました。また、一緒に設立した仲間たちが離れることもあり、廃業も選択の一つとして考えていましたが、「誰でも安心して暮らせる社会づくり」を目指して継続することを決意します。

事業が軌道に乗ってきた時に、同業他社に一番信頼していた人が引き抜かれ大きな痛手を負いますが、原点に立ち返り㈱レキオスとして保険業も立ち上げ、その後は業種・業態を問わずサポートする会社として、現在ではグループ七社で運営しています。

その後、グループ討論も行い、盛況のうちに幕を閉じました。(あいエフピー・大浜博文)

『同友会&琉球銀行』オンラインセミナー第2講 補助金活用で新しい事にチャレンジ

九月十六日、Ｚｏｏｍにて『同友会&琉球銀行』オンラインセミナー第二講が十六名の参加で開催されました。

初めに、琉球銀行法人事業部から補助金支援までの流れ（お客様から内容を聴いての情報提供、計画のブラッシュアップ、補助金とのすり合わせをして申請書のアドバイスをする）を説明していただきました。

次に、補助金活用のポイントとして、早めの情報収集や計画の具体化が大切。注意点としては、取り組める期間が短いのでスケジュールの確認と社内体制の整備が必要です。

報告後のグループワークでは、「どこで補助金の情報収集ができるのか」、「どのような補助金が我社では利用できるのか」、「手続きが面倒そう」等々、色々な質問や意見がでました。

最後に「商工会議所や沖縄同友会の掲示板から情報収集をしたり、取引のある琉球銀行各支店に気兼ねなく相談に来たりして下さい」と、まとめ幕を閉じました。

コロナ禍の中、経営者自ら自社の強みや弱みを分析し、新しい事にチャレンジをするのに補助金は有効的でした。(㈱普天間商会・普天間直樹)

補助金について熱心に学ぶ

南部支部&うりずん合同例会 「手段主導」の積み重ねで人生に0⇒1が生まれる

南部支部&うりずん合同例会が、九月十一日に南風原町中央公民館（Ｚｏｏｍ併用）にて二十六名の参加で開催され、イコールパートナー・代表の西川利明氏より報告いただきました。

西川さんは大学卒業後、大手コンピュータメーカーに就職し、少数精鋭の部署にて求職者・若手社員参加のセミナーを数多く運営します。海外部門に異動後、海外グループ企業の人事、経理、法務、情報システム等を幅広く支援しました。

また、国内外問わず千人を超える求職者との交流や就職活動のフォローやアドバイスを行いつつ、障がい者採用にも力を尽くし、求職者と職場の架け橋になることに努めました。

西川氏の報告を聞く参加者

結婚を機に、沖縄県へ移住し、屋外広告代理店にて経営課題の解決、社員の採用や育成、全社的な働き方改革を積極的に推進しますが、二〇一七年八月に保育園のお迎え時間の関係で広告代理店を退社。二〇一八年に、人材育成事業とクオリティ・オブ・ライフ向上事業を起業し、県内南部を中心に三〇〇件を飛び込み営業し、成果を上げていきます。

開業三ヵ月後に同友会へ入会し、今年度は南部支部副支部長とうりずん運営委員を務められています。グループ討論でも活発な意見が交わされ、有意義な例会となりました。(岩田税理士事務所・岩田進司)

北部支部9月支部例会
意識が変える会社の未来

九月十七日、ホテルゆがふいんおきなわにて北部支部九月支部例会が二十三名の参加で開催されました。

今回の例会はＺｏｏｍ併用での開催となりました。報告者は㈱プログレス31・社長の金城隆子氏を沖縄産業支援センターへお招きし、ホテルゆがふいんおきなわとＺｏｏｍでつないで報告を配信しました。

Zoomも併用して開催

報告内容は、金城社長の公私にわたる壮絶な話の数々に参加者の方々は終始ひきこまれていました。自分の意思で社長になり、会社をスタートしたわけではなかったので、人からやらされているという気持ちでいた頃は、事業がうまくいかなかったことが多く、自分がやりたいことだという意識を持つようになり、不思議と事業が好転していきます。

その後のグループ討論においても、活発な意見交換が行われ、参加者の方々が多くの気づきや学びを金城社長の報告から得られました。

他人や環境にやらされているのではなく、自分の意思で事業をやっているという意識の大切さを改めて実感しました。㈱琉球若草・大森陽介）

浦西支部9月支部例会
同友会の学びを日々の経営に生かす

九月二十四日、沖縄産業支援センターにて、浦西支部九月支部例会を、沖縄産業支援センターとＺｏｏｍを併用して二十一名の参加で開催しました。

高原勝也 氏

㈲テレネット沖縄・社長の高原勝也氏に「私の経営と同友会の学び～五年前の報告から現在～」をテーマに報告いただきました。

一九九四年の設立時から、何のために経営をするのか？を問い続けてきました。社員と一緒に現場だけをこなす経営者ではなく、しっかりと未来を見据えた経営をしなければという想いで、同友会の「経営指針作成講座」を受講します。

経営理念をもっと社員に理解しやすくすること、職人気質の固定概念を払拭するために、細分化していたものを大枠でとらえることで、社員の働き方・視野が広くなり「お客様のお困りごと解決」に気づく社員になってきました。お客様の声を報告し共有できるようになったとも語りました。

同友会の学びで事業分析を行い、日々の経営に生かされていると語り、有意義な例会となりました。㈱リウデン・謝敷千恵子）

報告を聞く参加者

第1回 後継者・経営者としての資質を高める学習会
組織の強さは継続して実行すること

九月二十三日、沖縄産業支援センター（Ｚｏｏｍ併用）して二十一名の参加で開催しました。「社員が幸せになる会社づくり～右腕が実践する社員のモチベーションアップの秘訣大公開！～」のテーマで、マエダ電気工事㈱・取締役の真栄田士郎氏に報告いただきました。

真栄田士郎 氏

社員合宿や社内誕生日イベント、朝礼、経営方針発表会、社員旅行、賞与支給など社内の雰囲気や笑顔あふれる様子から社員が幸せになる会社づくりを実践しています。

学生時代からの兄弟の関係で、同じ中高一貫校、部活でした。大学卒業後、父の経営するグループ会社に入社し、その後、兄が社長を引継いだ会社に入社します。当初、困難な時期もあったそうですが、経営方針発表、経営戦略合宿など社員全員で業績を分析し年間計画を作り上げ業績賞与に反映させる体制を築き上げ、士郎氏も社長の右腕としてこれらのイベントの年間スケジュールを組み、継続して実行することで真栄田社長を支えてこられました。

継続して実行することが組織の強さだと感じました。士郎氏は右腕として言うべきことは直言しつつも、「社長の雑務を省く」ことに徹することで社長をサポートし、会社の風通しを良くする役割を担っていました。（宮良そば・宮良信介）

社労士・コンサルタント
青山喜佐子の
知って得する
シリーズ157

雇用保険いろいろ知識
～働き方で改正が進んでいます～

「雇用保険」、以前は失業保険と呼ばれていましたが、離職したときに、条件に合えば一定期間、手当が支給される制度です。

今回の新型コロナウイルス感染症の影響で「雇用調整助成金」「休業給付支援金」の申請が事業主の労働保険加入の有無、また従業員の雇用保険の加入、未加入により、受取条件に違いが出ました。働き方改革で改正される部分を紹介します。

雇用保険の加入の改正

原則事業主は、従業員を一人でも雇用していれば規模にかかわらず労働保険に加入します。また働く従業員が①三十一日以上勤務が見込まれる、②週の労働時間が二十時間以上であれば雇用保険に加入しなければいけません、①②に該当する従業員は、六十五歳以上でも加入します。（今年四月以降保険料徴収）

雇用保険を受ける時の改正

・離職した日以前二年間に被保険者期間が通算して十二か月以上あること
・一ケ月毎の期間で賃金支払い基礎日数が十一日以上あること⬇八月一日改正（労働時間数が八〇時間以上ある月を一か月と計算へ）
・自主退職の場合の待期期間三か月⬇十月一日改正（待機期間二か月へ）

改正が予定されていること

・六十五歳以上で、複数事業所で働く二十時間未満の人の雇用保険加入（令和四年四月一日施行）
・高年齢雇用継続給付金の減額（令和七年四月一日）

新型コロナの影響で働きやすい制度が次々整備されますので、各職場でも新たな情報収集に努めましょう。

〈プロフィール〉
社会保険労務士
日本産業カウンセラー
大学非常勤講師
市町村行政改革推進委員など
社会保険労務士法人 オフィスあるふぁ
TEL/098-870-6686
青山喜佐子（あおやまきさこ）
（社会保険労務士法人 オフィスあるふぁ所長）

人吉校なら
2日間、本腰を入れて立場の変化を強く意識できる!

自分の立ち位置をつかむ
人を動かすコミュニケーション
会社を超えて、同じ立場同士、悩みを聞き合う
組織を元気にする部下育成をグループで検討

若手リーダー養成研修
NEW【沖縄教室】当校人気講師の研修を沖縄で開催します！
研修期間 2020年 11/5㈭～6㈮
受講料 19,000円（税込）
会場 沖縄産業支援センター 沖縄県那覇市字小禄1831番地1
◆お問い合せ先
中小企業大学校 人吉校
〒868-0021 熊本県人吉市鬼木町梢山1769-1
TEL：0966－23－6800（平日9:00～17:30）
FAX：0966－22－1456
人吉校 検索
申込書は人吉校ホームページからダウンロードできます。必要事項を記入の上、FAXにてご送信ください。
また、人吉校ホームページからはオンラインでのお申込ができます。

第19期社長・社員共育塾第1講
コロナに負けない強靭な会社をつくろう

九月十五日、第十九期社長・社員共育塾がスタートしました。新型コロナの影響により三ヵ月遅れで密を避けるためＺｏｏｍを活用して十二社七〇名の受講で開催しました。

今期は「真のリーダーシップ」のテーマで、第一講は㈲沖縄ホテル・社長の宮里公宣氏に講話いただきました。コロナの影響を受けて、最初は他人事のように感じていましたが、感染が国内で広まると非常事態宣言が発せられ観光客がピタッと止まり売り上げが激減してしまいます。

Zoomで報告する宮里公宣氏

このような状況だからこそ出来ることもあるのではないかと社員たちと共に床の修繕や清掃に力を入れ、社員研修を通して経営理念の浸透と五年後の目標を再確認し、今後の沖縄ホテルについても社員の意見、経営者の意見を本音で議論します。

「このままでは私たちは解雇ですよね」と言われると、「それもそうだけど会社が倒産しますよ」と、現在の沖縄ホテルの状況を数字で示し、目標を変えずに手法を変えることで社員一丸となって、コロナに負けない強靭な会社を作り上げていくことに参加者一同とても刺激を受けました。

グループ討論では各社の恵まれているところを確認してコロナに負けない企業づくりをすることを誓いました。（㈲たけ事務・竹富久）

健障者委員会、ナカポツ（障害者就業・生活支援センター）との意見交換・懇談会
マッチングのミスを減らし、継続雇用に繋げる

九月十六日、Ｚｏｏｍにて健障者委員会と障害者就業・生活支援センター（以下、ナカポツ）との意見交換・懇談会が同友会十六名、ナカポツ六名の参加で開催されました。

ナカポツからは、新型コロナウイルス感染症の影響で、観光業や飲食業を中心に時短勤務や自宅待機、雇い止め・解雇とひっ迫した現状が話されました。また、感染予防のため実習の受け入れの延期や取り消し、雇用開始の遅れ等々、利用者と相談しながら日中の生活はフォローをしているが、再就職については、やはり難しく、ナカポツとしても不安を抱えている状況を話されました。

一方、業種によっては同様に打撃を受けている企業もあり、在宅でのオンライン活用や、キャリア教育をリモートで行うなどイノベーションを模索しながら、全社員が働ける環境づくりに取り組んでいます。

企業と障害のある方が繋がる機会がない中で、支援者としても不安であり、人出不足の業種から採用のチャンスを見つけるにはフットワークを軽くしていく必要があります。リモートワークが普及する中、エッセンシャルワークのように人にしかできない仕事もあり、仕事を切り出して開拓をしていくことも大切です。

企業、ナカポツが協力してマッチングのミスを減らし、継続雇用に繋げていきたいと、今後も意見交換会を開催することを確認しました。（事務局）

那覇支部経営基礎講座第5講
会社としてできることを常に考え続けることが大切

九月二十四日、那覇支部経営基礎講座第五講が九名の参加で開催されました。

ヒューマンプロデュース・キャリアコンサルタントの當銘康起氏を講師に、「セルフ・キャリアドックで会社を元気にしましょう～従業員の活力を引出し、企業の成長へと繋げる為に～」のテーマで講義いただきました。

當銘康起 氏

セルフ・キャリアドックとは、キャリアの棚卸をする機会を定期的に設け、研修と面談を組み合わせて、従業員の主体的なキャリア形成を促進・支援することを目的とした総合的な取組みです。

モチベーションとキャリア意識の向上、人材の定着と生産性の向上など組織の活性化に繋がる取組みとなっています。

従業員がイキイキと仕事に集中できる環境をつくる為に従業員の本音を聞き、従業員に行って欲しいこと、会社としてできることを、常に考え続けることが大切であり、また、従業員から本音を話しやすい環境を作る為に、日頃から話をしっかり聞いている姿勢を従業員に見せることが大切だと感じました。（三重金属工業㈱・上地裕介）

中小企業基盤整備機構沖縄
沖縄子育て良品㈱に感謝状を贈呈

中小企業基盤整備機構沖縄（以下、中小機構）は、中小機構の活動と連携し、中小企業・小規模企業事業者の活躍及び地域の発展に貢献した功労者として、同友会会員の沖縄子育て良品㈱・舩谷香社長に感謝状を贈呈しました。

同時に中小機構は、舩谷社長に中小企業応援士を委嘱し、今後も地域経済の発展と中小企業を支える活動を共に取り組んでいきます。（事務局）

舩谷氏に感謝状を贈呈（写真右）

ITコンサル・情報通信関係は「ITまっちゃ」にご相談を

宮古島でＩＴコンサルタント・情報通信事業をしている、ＩＴまっちゃ・代表の青柳亮一氏にお話を伺いました。

青柳氏は、東京の証券会社に勤めた後、ＩＴ会社に転職して様々な技術を身に着けます。お金を貯めて世界旅行も行き、最終的に沖縄に住みたいという憧れから宮古島に移住し転職しますが、二〇一二年に退職し独立します。勢いで独立したものの、技術面以外にも営業や経理も考えないといけず悩んでしまいます。そこで、経営コンサルタントの先生に相談しようと探していたところ、沖縄同友会に誘われて二年前に入会しました。

青柳亮一 氏

現在は、「ホームページ制作」、「システム開発」、「ＩＴコンサルタント」の業務をメインにしています。「ＩＴコンサルタント」は、同友会の経営指針の派生物で、経営指針を作成している最中に「差別化・付加価値を発見するコーチング」を生み出しました。自社の商品やサービスに付加価値をつけ差別化を行い、価格競争に巻き込まれないよう深堀り、構築するお手伝いをしています。

「ホームページ制作」でも他社と差別化しており、ＩＴコンサルタントやターゲティングでエンドユーザーがどういう文書を好むのかを、逆算して調べて文章も作成する手厚いサポートがあります。「システム開発」では、技術側が自己満足からシステムを作ることが多く、利用する側が覚えることが多くて逆に非効率になっているので、学習コストを考慮したシステム開発で業務効率化に繋げています。

最後に、スタッフは全員主婦で好きな時間にテレワークで仕事をしており、Ｚｏｏｍで打ち合わせや仕事の管理はクラウド上で見える化などしています。それぞれのライフスタイルの中で働き方改革に特化しています。ＩＴコンサル・情報通信関係のご相談はＩＴまっちゃまでご連絡ください。（事務局）

《会社概要》
ＩＴまっちゃ
代表　**青柳 亮一 氏**
〈宮古支部〉
所在地／宮古島市平良下里1359-2
ＴＥＬ／050-5864-0642
事業内容／情報通信（ホームページ制作、ソフトウエア開発、インターネット通販など）
ＵＲＬ／http://itmacha.net

文進印刷株式会社
本　社／〒901-0416　沖縄県島尻郡八重瀬町字宜次706－4
TEL（098）996－3356（代）FAX（098）996－3357
那覇営業所／〒902－0074　沖縄県那覇市字仲井真201番地18
TEL（098）855－2323（代）FAX（098）996－3357
浦添営業所／〒901－2111　沖縄県浦添市経塚８１１－１４
TEL（098）879－9303（代）FAX（098）996－3357
宜野湾営業所／〒901－2214　沖縄県宜野湾市我如古3-11-5 1F
TEL（098）898－1055（代）FAX（098）996－3357
沖縄営業所／〒904－2165　沖縄県沖縄市宮里２丁目１番３号
TEL（098）937－8607（代）FAX（098）996－3357
糸満営業所／〒901－0303　沖縄県糸満市字兼城473-10 グレイスコート102
TEL（098）994－5777（代）FAX（098）996－3357
うるま営業所／〒904－2215　沖縄県うるま市具志川みどり町3-19-5
TEL（098）973－5676（代）FAX（098）996－3357
平成19年２月６日、個人情報保護のための仕組みである、JISQ15001：2006（プライバシーマーク 認定番号24000306（07））を取得いたしました。
＜南部支部会員＞